

祝賀の詞（河野天籟）

四海波 平かにして 瑞煙 漲り

五風 十雨 桑田を 潤す

福は 東海の 如く 杳かに 際 無く

寿は 南山に 似て 長えに 鶯けず

鶴は 宿る 老松 千載の 色

亀は 潜む 江漢 万尋の 渚

芙蓉の 雪 大瀛の 水

神州に 磅礴して 九天に 輝く

四海波平漲瑞煙 五風十雨潤桑甲

福如東海杳無際 壽似南山長不鶯

鶴宿老松千載色 龜潛江漢萬尋淵

芙蓉之雪大瀛水 磅礴神州輝九天

解説 祝いを賀す詩として作られたもの。

語釈 ※四海〓周囲の海。なお、四海波は謡曲「高砂」に「四海波静かにて国も治まる時つ風」とあり、国の穏やかなことを祝う語となつている。※瑞煙〓目出度いことの現われる兆しを示す煙。※五風十雨〓五日に一度風吹き、十日に一度雨降るという、順調な気候をいう。※桑田〓一般には桑田碧海、目出度いこと。限りない国土の意。※東海〓東の海。※南山〓詩経の九如の篇に「南山の寿の如く鶯けず崩れず」とあり長寿の意。※鶴〓鶴は千年と言ひ、年が長いこと。※龜〓日本では鶴ともに長寿をもつて称される。※江漢〓揚子江と漢江のこと。※万尋〓水が深い。※芙蓉：富士山にたとえる。※大瀛〓大海原。※神州〓わが国としたもの。※磅礴〓満ちあふれて。※九天〓天の最も高い所。大空の意。

通釈 四方の海は波が穏やかで、太平のきざしを見せ、天空には、めでたい瑞雲が漲つている。天候も順調で、五日に一度の風と、十日に一度の雨という気候が、ほどよく桑田を潤している。福は、東海のように際限なく広がり、寿は南山が尽きないように永遠に欠けることがない。鶴は老松に宿り千年の色を示し、龜は揚子江や漢江のような深い渚の中に潜んでいるので、ともに長寿でめでたい生き物である。霊峰富士は千古の雪に輝き、海水は洋々として万古に尽きることなく、このように、素晴らしい瑞気がわが日本の内外に満ちあふれ、大空にまで輝きわたっている。